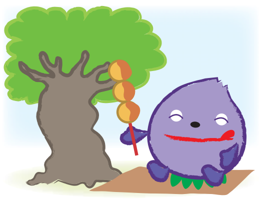
躍動をかたちに　進化するまち　こだいら

市報 こだいら

平成28年（2016年）
4/20
第1404号



携帯電話用　スマートフォン用

発行：小平市　編集：環境部環境政策課・下水道課　〒187－8701　小平市小川町二丁目1333番地　☎042（341）1211（代表）

◇小平市ホームページ　http://www.city.kodaira.tokyo.jp　◇電子メール　info@city.kodaira.lg.jp　◇小平市公式ツイッター　@kodaira_tokyo

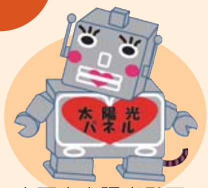
地域エネルギービジョン 下水道プラン後期計画 特集号

平成32（2020）年度までに 市のエネルギー消費量を25%以上削減

地域エネルギービジョン中間見直し

地域エネルギービジョンは市の低炭素社会実現のための地球温暖化対策に関する計画です。市民・事業者・市がそれぞれ主体となり、協働してその実現に向けた取り組みを進めています。地球温暖化にストップをかけ、持続可能な社会を未来に引き継ぐため、この見直しを機にさらに取り組みを推進していきます。

地域エネルギービジョン計画期間
中間見直し
平成21年度　平成28年度　平成32年度



小平市太陽光発電イメージキャラクター ソラミ

なぜ中間見直しが必要なのでしょうか

現行の取り組みを、これまでの成果と今後の実効性・効果性の視点から再構築を図りました。

IPCC（※）第５次評価報告書は、今のままでは、21世紀末には最大4.8℃の気温上昇、最大0.82メートルの海面上昇を予測するなど、地球温暖化をめぐる非常に厳しい現状を示しています。

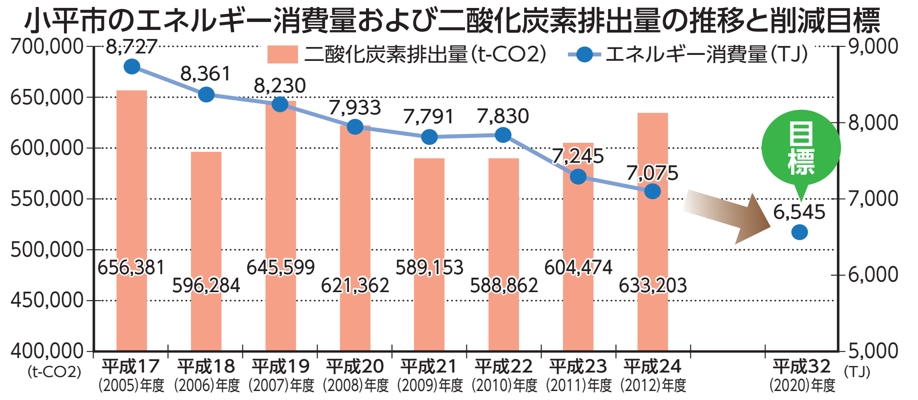
こうした中、平成27年12月には、COP21（国連気候変動枠組条約第21回締約国会議）がパリで開催され、すべての国が参加する平成32（2020）年以降の新たな温暖化対策の枠組みである「パリ協定」が採択されました。

地球温暖化対策は差し迫った課題であり、一人ひとりの日頃の選択に地球の未来がかかっています。

市としても社会状況や環境の変化に目を向け、より一層、市民・事業者・市が一体となって地球温暖化対策を進めていくため、地域エネルギービジョンの中間見直しを行いました。

※IPCC（気候変動に関する政府間パネル）とは、地球温暖化の問題を考えるために設立された国連の組織です。

小平市のエネルギー消費量および二酸化炭素排出量の推移と削減目標

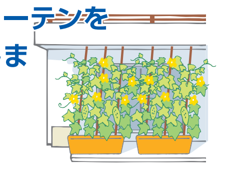


市民・事業者の省エネなどの取り組みがエネルギー消費量の削減といった形で表れている一方、二酸化炭素排出量は東日本大震災以降の電源構成の変化を受けて増加しています。省エネなどの成果が明確となるよう、地域エネルギービジョン中間見直し以降は、エネルギー消費量そのものに着目した目標としました。

みんなで取り組む10の重点プロジェクト

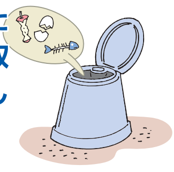
ウェブ版環境家計簿に参加しましょう

緑のカーテンを設置しましょう

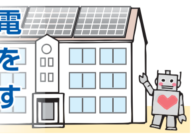


小平産の農産物を食べましょう

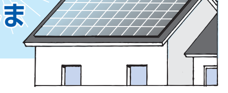
生ごみのたい肥化に取り組みましょう



公共施設には、計画的に太陽光発電システムを導入します



市の助成金を利用して、太陽光発電やエネファームを設置しましょう



自宅の庭やベランダに植樹を

車を買い替える時は、低公害車・低燃費車を

車に乗らない日を作りましょう

環境学習や環境講座に参加しましょう

中間見直しの経緯

- 平成27年4月28日　環境施策推進本部会議
- 平成27年9月18日　環境審議会
- 平成27年9月26日　市民意見交換会（エコダイラ・カフェ）
- 平成27年12月9日　環境施策推進本部会議
- 平成27年12月15日　環境審議会
- 平成27年12月19日　市民意見交換会（エコダイラ・カフェ）
- 平成28年1月21日　環境施策推進本部会議
- 平成28年1月26日　環境審議会
- 平成28年3月15日　環境審議会

平成27年９月～12月　環境配慮事業者連絡会

エコダイラ・カフェの様子

問合せ　環境政策課
☎042（346）9818
✉kankyoseisaku@city.kodaira.lg.jp

「小平市地域エネルギービジョン中間見直し」は、市政資料コーナー（市役所１階）、東部・西部出張所で販売しているほか（１部280円）、小平市ホームページでもご覧になれます。